

令和4年度 第2回 介護・医療連携推進会議

日時：令和5年2月17日（木）14：00～15：00

場所：株式会社ゆりかご（ゆりかご☆ドリーム）

会次第

進行：脇（株式会社ゆりかご）

(1) 開会のあいさつ

(2) 会議メンバー自己紹介

(3) 議事

1 定期巡回随時対応型訪問介護看護について

2 「ゆりかご☆いんくる」自己評価・他者評価について（理念・特徴）

3 会議参加者各位からのご意見・ご要望について

(4) その他

定期巡回・随時対応型訪問介護看護会議録

定期巡回・随時対応型訪問介護看護（令和4年度第2回総評）

平均月別利用者数 16.6人（令和4年7月～令和5年1月現在）（前回19.6人）

平均要介護度 3.03（前回2.97）

ヒルズ入居者比率 47.4%（令和5年1月現在）（前年34.6%）

看護付き 7件（前年度10件）

売上 3,800,000円/月ほど（前回3,650,000円/月）

利用者数は15～20人の間で昨年同様、数字的なばらつきはあるが、安定できています。利用者数が減っても、外部からの依頼が多くなってきております。退院直後、状態安定するまでなどスポット的に対応するケースは、この7か月においては非がん患者への広がりもみられており、医療保険における訪問看護への依頼は依然と多く、定期巡回としては件数維持でした。外部からの依頼が多くなっていることは、外部研修などにおいて、定期巡回の認知度が高まり、マッチングにつながっていることが依頼時のインタビューでわかりました。

また、昨年12月24日から今年1月24日まで、鶴亀ヒルズでクラスターが発生し、年末年始は新型コロナ陽性者対応で200件以上の訪問を実施しました。定期巡回の利用者においては、療養期間数日前から食事量の減少がみられ、点滴など実施していましたが、療養期間明け2日後にご逝去された方が1名いらっしゃいました。（定期巡回での利用者は5名陽性でした。）また、胸水貯留で入院されましたが、入院先でコロナに罹患し、そのままご逝去されたケースも1件ありました。

職員においては、連日感染対策を実施しながらケアに介入し、一人もケア中に感染者を出すことなく実施できました。

今後の方向性としては、昨年度同様に利用者数を25人くらいで安定させていきたいです。しかし、数値目標にとらわれず、その方に合ったサービスや制度のご提案もしていき、法人全体だけでなく、地域圏域の事業所へのアプローチもさらに強化してまいります。

傾向としては高齢者支援センターからの独居・困難事例はご紹介いただいています。利用者とその娘（精神疾患）が家族からDVを受けており、緊急避難していて、地域生活を再開するにあたる生活再建を行うケース、本人が認知症で不潔行為などがあり、支援する家族も遠方等の事情をかかえており、家族の介護力が低いケースなど社会的課題を有するケースが多いです。

また、最近は医療依存度が高い方の支援が増えており、ご自宅で看取りするケースもこの7か月では27件（前年度は1年で2件、前々年度は3件）でした。（実績計上は訪問看護として算定されているので、定期巡回での実績とはなっていないが、これは一体型の事業所だからこそできる特徴と考えられます。）

出席者からのご意見

地域に住むケアマネジャー：インフォーマルサービスではなく、インフォーマルサポートとして考える
と良いと思う。目標が変わること自体、悪いことではない。質問を見直すと良いかもしれない。未来志向
の計画という表現を、未来志向の態度で臨んでいるかという質問にしてみるといいかもしれない。

地域包括支援センター：コロナ禍で面会が制限されていることで、看取り期の利用者数が増えているの
だと思う。看護と介護の情報共有の仕方が大切。支店のギャップについての話し合いが必要。

地域の自治会長：自己評価をきちんと分析できている。ただ、客観的な評価方法がないと自己評価ではど
のようにすればよいか難しいのではと感じる。安心して歳をとれるなど思った。看取りの人数が増える
ことは自然な姿かもしれない。高齢化は悪いことではない。「地域の長男」という存在になってほしい。

地域自治会会員：市報に載っていた緊急通報システムとの違いについて教えてほしい。また、アンケート
結果は、とても良い結果だと思うので職員さんを褒めてあげてほしいです。介護と看護の差をお互いに
話し合わせてみてはどうか？

高齢福祉課：介護保険計画への興味も持ってほしい。

地域医療関係者：看取りの件数の多さにびっくりしている。患者に向き合うことができていると感じる。
これからも連携をお願いしたい。

利用者：自分の生活が成り立っているのはこのサービスのおかげ。夜でもいつでもつながっているとい
うことが安心につながっている。これからもお願いします。（欠席のため、別日に聞き取り）

皆さまのご意見を活かしながら、今後の運営に役立ててまいります。

ありがとうございました。

<介護・医療連携推進会議における評価> ※公表用

【事業所概要】

法人名	株式会社ゆりかご	事業所名	ゆりかご☆いんくる
所在地	(〒311-4206) 茨城県水戸市飯富町 3467-1		

【事業所の特徴、特に力を入れている点】

法人としての社訓は「一期一会」です。その瞬間に、目の前の人に、最善を尽くす、そんな集団となっていきたいと考えています。

私たちのケアは「ナラティブ」（物語り）に基づくケアを実践しています。これは、利用者様と私たちが傾聴と語りを通じて、一緒に物語を紡いでいけるような私たちの態度と常に向き合いながら、利用者様の本当に大切にしていることを受け止めて、その方らしく生きていける支援を一緒に作り上げていくという考え方です。

さらに、事業所名にもある「いんくる」は「inclusion」に由来していて、地域の老若男女が住み慣れた場所で、今置かれている状況を多様性と捉えて、それぞれの生き方で安心して過ごしていくことができる地域づくりをこのサービスを通してお手伝いさせていただきたいと考えています。

【自己評価の実施概要】

事業所自己評価 実施日	西暦 2023 年 2 月 3 日～10 日	従業者等自己評価 実施人数	(26) 人 ⇒30 名 ※管理者を含む
----------------	------------------------	------------------	----------------------

【介護・医療連携推進会議における評価の実施概要】

実施日	西暦 2023 年 2 月 17 日	出席人数（合計）	() 人 ※自事業所職員を含む
出席者（内訳）	☐ 自事業所職員（1 人） ☐ 市町村職員（1 人） ☐ 地域包括支援センター職員（2 人） ☐ 地域住民の代表者（3 人） ☐ 利用者（0 人） ☐ 利用者の家族（0 人） ☐ 知見を有する者（1 人） ☐ 医療関係者（1 人）		

定期巡回・自己評価

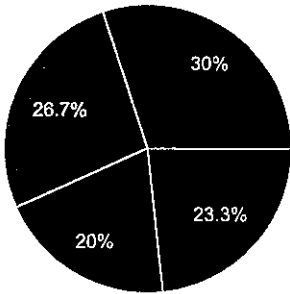
30 件の回答

分析を公開

属性をお答えください。

📄 コピー

30 件の回答



- 介護・男性
- 介護・女性
- 看護・男性
- 看護・女性



お名前をご入力ください。

28 件の回答

脇 健仁

栗林雄一

上妻孝久

今瀬

篠原美穂

坂井公哉

大森俊宏

片岡 貞之

阿部 満

辻清大

大内 翼

鳥羽田隆

根本健一郎

久江佐知子

高山泰人

檜山 和弥

椎名隆行

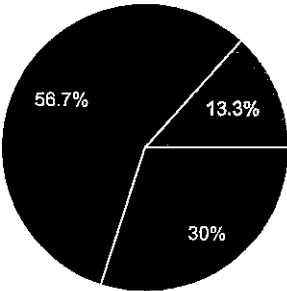
白岩 真澄



- 古田土 慶子
- 柴田 智子
- 木村 恵
- 小野瀬純子
- 後藤理子
- 川崎将志
- 竹内優子
- 佐藤利江
- 仲田博子
- 羽生 強

当該サービスの特徴である「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するため、事業所独自の理念を掲げている。
法人理念：「一期一会」 今年度目標：「幸せの輪を広げよう」

30 件の回答



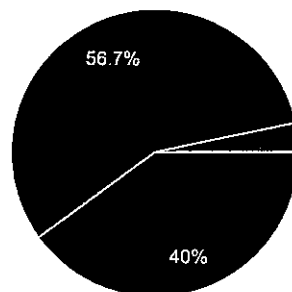
- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

コ
ピ
ー

管理者と職員は、当該サービスの特徴および事業所の理念について、その内容を十分に認識している。

法人理念：「一期一会」今年度目標「幸せの輪を広げよう」

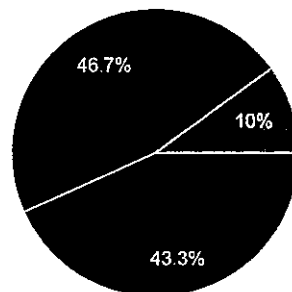
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

運営者は、専門技術（アセスメント、随時対応時のオペレーターの判断能力など）の向上のため、職員を育成するための具体的な仕組みの構築や、法人内外の研修を受ける機会等を確保している。

30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

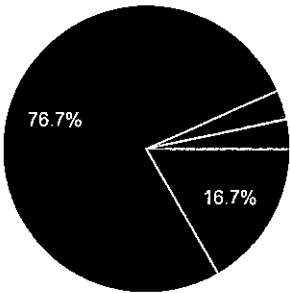
管理者は、サービス提供時の職員の配置等を検討する際、職員の能力が最大限に発揮され、能力開発が促されるよう配慮している。

コ

ピ

—

30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

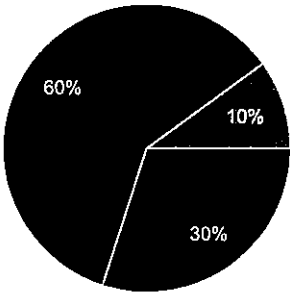
介護職・看護職の間で、利用者等の特性・状況に係る相互の理解・認識の共有のための機会が、十分に確保されている。

コ

ピ

—

30 件の回答

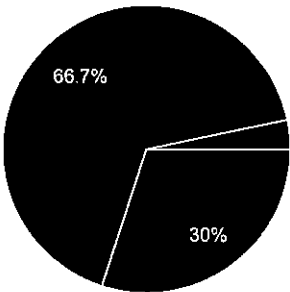


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない



利用者等の特性に応じた柔軟なサービスを提供するため、最適且つ柔軟な人材配置（業務・シフトの工夫）を行っている。

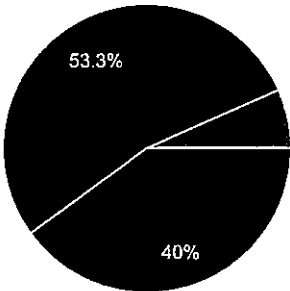
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

介護・医療連携推進会議を適時適切に開催すると共に、得られた要望、助言等（サービスの過少供給に対する指摘、改善策の提案等）を、サービスの提供等に適切に反映させている。

30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

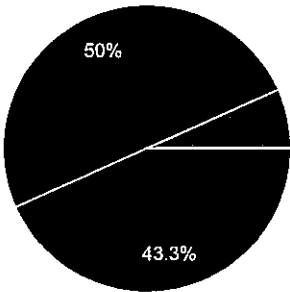
利用者等の状況について、（個人情報管理に配慮した上で）必要に応じて関係者間で迅速に共有できるよう工夫されている。

コ

ピ

—

30 件の回答



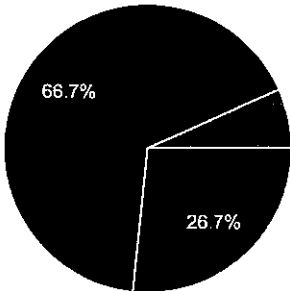
- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

利用者等の一日の生活リズムに着目した、アセスメントが提案されている。

コピ

—

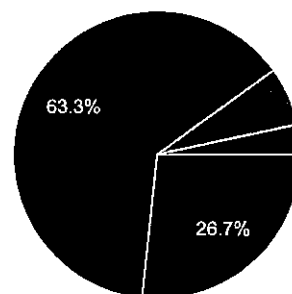
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

介護・看護の両面からのアセスメントが適切に実施され、両者の共有、つき合わせ等が行われている。

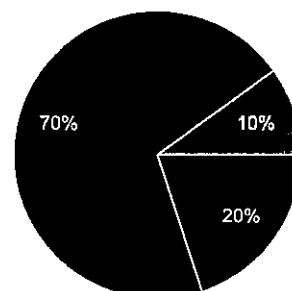
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

利用者の心身機能の維持回復に軸足を置いた計画の作成が志向されている。

30 件の回答

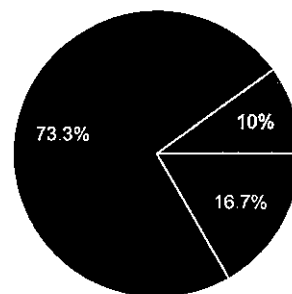


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

重度化しても医療依存度を高め過ぎないように、利用者の今後の変化を予測し、先を見越した適切なリスク管理を実現するための、「未来志向型」の計画の作成が志向されている。



30 件の回答

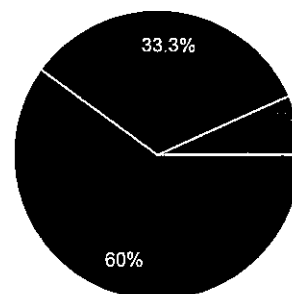


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

計画上のサービス提供日時以外であっても、利用者等の状況に変化が生じた場合は、必要に応じて新たに定期巡回・随時対応サービスの提供日時を設定するなど、柔軟な運営に努めている。



30 件の回答



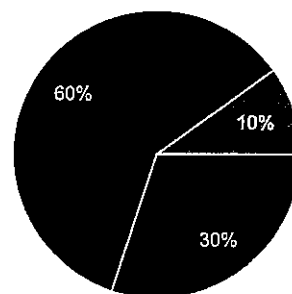
- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない



サービス提供を通じた、継続的なモニタリングによる、利用者等の状況変化の早期把握と、計画への適宜反映が行われている。

コ
ピ
ー

30 件の回答

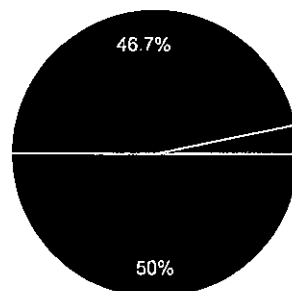


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

より効率的・効果的なサービス提供を実現するため、介護職、看護職のそれぞれの専門性を活かした役割分担が行われている。

コ
ピ
ー

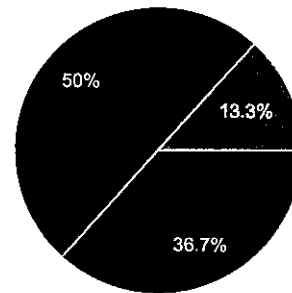
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

看護職から介護職に対し、疾病予防・病状の予後予測・心身の機能の維持回復などの観点から、指導、助言が行われている。

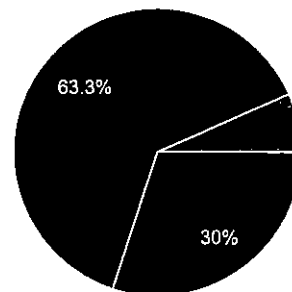
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

サービスの開始前に、利用者等に本サービスが「利用者等の在宅生活の継続」と「心身の機能の維持回復」を実現するためのサービスであり、訪問サービスは、その趣旨に沿って行われるアセスメントに基づき提供されることについて、十分な情報提供・説明が行われている。

30 件の回答



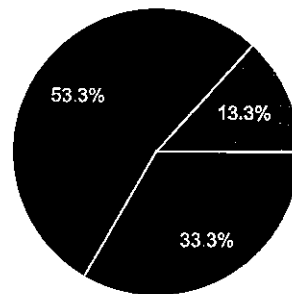
- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

作成した計画の目標及びその内容について、利用者等に十分な説明を行うなど、共通の認識を得るための努力がされている。

コ

ピ

30 件の回答



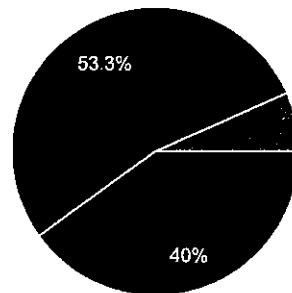
- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

利用者の状況の変化や、それに伴うサービス提供の変化等について、家族等への適時・適切な報告・相談等が行われている。

コ

ピ

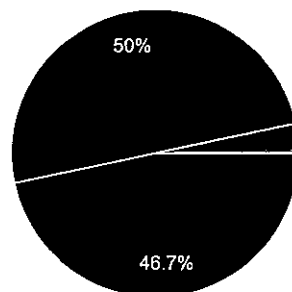
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

ケアマネジャーとの間で、利用者へのサービス提供状況、心身の機能の変化、周辺環境の変化等に係る情報が共有され、サービスの提供日時等が共同で決められている。

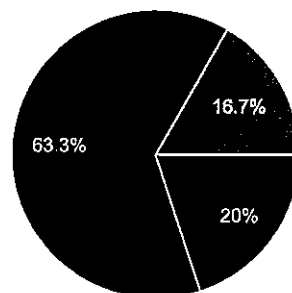
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

計画の目標達成のために、必要に応じて、ケアプランへの積極的な提案（地域内のフォーマル・インフォーマルサービスの活用等を含む）が行われている。

30 件の回答

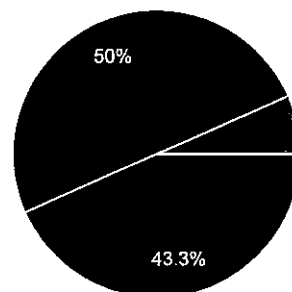


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

サービス担当者会議等の場を通じて、利用者等の状況や計画目標の達成状況について、多職種への情報提供が行われている。

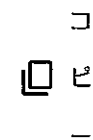


30 件の回答

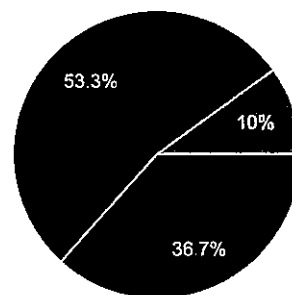


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート（保険外サービス、インフォーマルケア等の活用を含む）について、必要に応じて多職種による検討が行われている。



30 件の回答

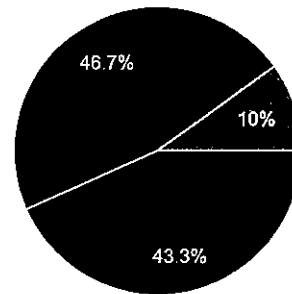


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

病院・施設への入院・入所、及び病院・施設からの退院・退所の際などに、切れ目のない介護・看護サービスを提供するために、必要に応じて多職種による検討や情報の共有が行われている。

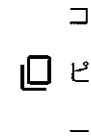


30 件の回答

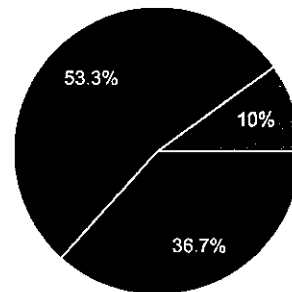


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

地域における利用者の在宅生活の継続に必要となる、包括的なサポート体制を構築するため、多職種による効果的な役割分担や連携方策等について検討し、共有がされている。



30 件の回答



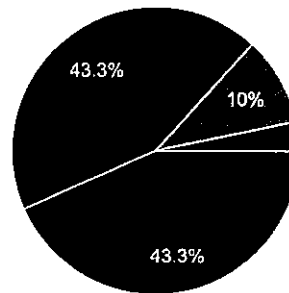
- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない



介護・医療連携推進会議の記録について、誰でも見ることをできるような方法での情報発信が、迅速に行われている。

(ホームページに公開中<https://www.yurikago-kaigo.com/kaigo/incl/index.html>)

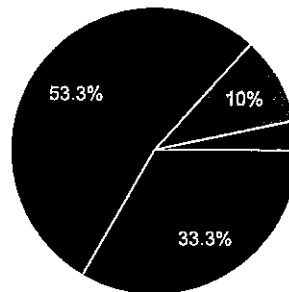
30 件の回答



- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

当該サービスの概要や効果等についての、地域における正しい理解を広めるため、積極的な広報周知が行われている。

30 件の回答

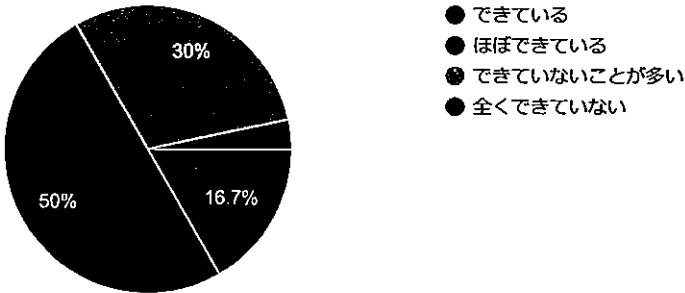


- できている
- ほぼできている
- できていないことが多い
- 全くできていない

行政が介護保険事業計画等で掲げている、地域包括ケアシステムの構築方針や計画の内容等について十分に理解している。

30 件の回答

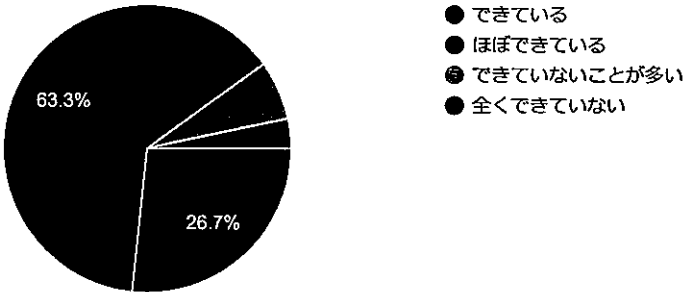
コ
ピ
ー



サービスの提供エリアについて、特定の建物等に限定せず、地域へ広く展開していくことが志向されている。

30 件の回答

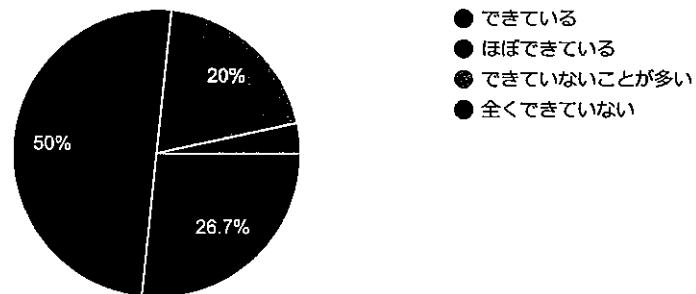
コ
ピ
ー



当該サービスの提供等を通じて得た情報や知見、多様な関係者とのネットワーク等を活用し、介護・看護の観点から、まちづくりに係る問題認識を広い関係者間で共有し、必要に応じて具体的な課題提起、改善策の提案等（保険外サービスやインフォーマルサービスの開発・活用等）が行われている。

コ
ピ
ー

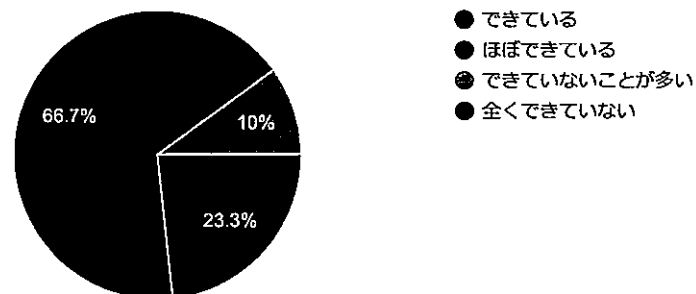
30 件の回答



サービスの導入により、利用者ごとの計画目標の達成が図られている。

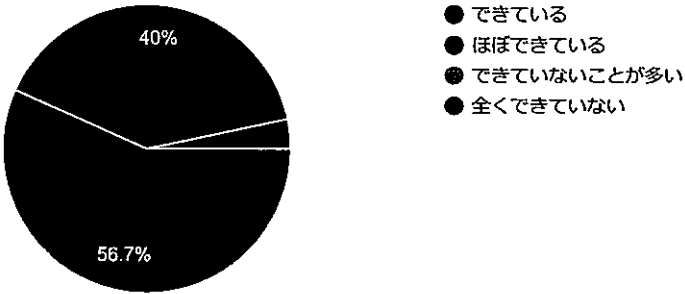
コ
ピ
ー

30 件の回答



サービスの導入により、利用者等において、在宅生活の継続に対する安心感が得られている。

30 件の回答



このコンテンツは Google が作成または承認したものではありません。 [不正行為の報告](#) - [利用規約](#) - [プライバシーポリシー](#)

Google フォーム

